

## 10月3日 **ワークショップ**

現在行われている緊急の気候資金の取り組みの例を取り上げられます。都市・地方自治体の担当者は自分の担当業務に活用するためのベスト・プラクティスを学ぶことができます。

### ■ 気候危機を食い止めるための第4次産業革命への挑戦:都市のための拡大された気候イノベーションアジェンダ (16:00~17:30 JST)

第4次産業革命によってもたらされた「ダイナミックアプローチ」によるイニシアティブは持続可能性にフォーカスをしていません。だからこそ、地方自治体が気候危機に対処するための「ダイナミックアプローチ」をとることを奨励し、同時に、人間社会が繁栄するためのより多くの機会を同時に開発することを奨励する、拡大された気候イノベーションアジェンダが必要です。「静的な問題アプローチ」はまた、第4次産業革命とデジタル化が気候の緊急事態に対応するためにさまざまなレベルの政府を支援することにも失敗しています。破壊的な技術に基づく革新的なソリューションは、気候危機に対する私たちの世界的な対応において大きな役割を果たすことができますが、世界の持続可能性と110億人に質の高い生活を提供する可能性は、これらのソリューションが中心でかつ不可欠であると考えられる場合に限られます。

### ■ エネルギーの未来を蒔く：エネルギーイノベーションを大規模に推進する官民パートナーシップ (18:00~19:30 JST)

気候変動の影響は、日を追うごとにますます顕在化し、エネルギーシステムの安定性と公正なアクセスを確保しながら温室効果ガス排出量を劇的に削減するために緊急行動が必要であることは明らかです。地方自治体は、より持続可能性に向けた行動を実施する上で重要な立場にありますが、公共の資源だけではイノベーションを実現できません。民間企業の支援を受けてエネルギーシステムを脱炭素化する革新的な資金調達スキームは、気候危機に対する行動を確実にするために世界中で芽生えています。地方自治体は、ビジネス部門と協力することで、地域の気候対策のギャップを埋め、専門性とリソースを確保しています。

このセッションでは、アフリカ、台湾から革新的なスキームをいくつかを紹介します。ヨーロッパでは、専門家と具体的な経験をインタラクティブな形式で共有し、参加者は、PPP、国際的な持続可能な認証、PPA、シードファンドなどのトピックについて学び、インスピレーションを得る機会を得ることができます。ブレイクアウトルームでは専門家と議論を深めるチャンスがあります。

■ **永続的な気候レジリエンス：強靱なインフラファイナンスと都市インフラ保険ファシリティを結びつけた気候保険のさらなる考察 (20:00~21:30 JST)**

都市は金融レジリエンスの課題の最前線にいます。金融レジリエンスの課題には、即時対応のための流動性の課題、気候リスクに関連する資金調達への欠如、保険商品などの災害前準備措置への投資を妨げる既存の財政上の制約が含まれます。UNCDF とイクレイは、このワークショップを通じて、2つのグローバル都市での経験に基づく CILIF イニシアティブと UIIF プロジェクトの2つのアプローチを共有し、参加者からフィードバックを受けます。他の都市や関連する利害関係者と協力して、保険ソリューションに関するさまざまなアプローチを導入することで、参加者は多様化した災害リスク管理メカニズムの重要性とその長期的な目標を理解しながら、このセッションを終了します。

■ **地価の獲得：包摂的な開発を促進するための金融ツール (22:00~23:30 JST)**

このセッションでは、土地価値獲得(LVC)の基礎を紹介し、政府が公共交通、グリーンインフラ、洪水レジリエンスなど、地域の気候緩和と適応への投資に資金を供給するためにどのように使用できるかを示します。また、地方政府が気候にプラスのインフラに資金を供給するために使用できるさまざまな LVC ツールを紹介し、ピアラーニングを促進する現場での例を参考に、気候投資がコストを回収したり、新しい投資を促進したりするために土地価値をどのように高め、収益創出、投資、成長の好循環を可能にするかを示します。参加者は、都市の LVC に関する基礎的な知識を得ることができます。

■ **行動を求め、希望を鼓舞する若者主導の気候活動への投資 (24:00~01:30 JST)**

若者の声は、私たちの世界の未来を形作る上で不可欠です。若者の行動主義は効果的であることが証明されており、私たちが現在直面しているグローバルな課題に取り組む上で、そして将来にわたって重要な役割を果たし続けるでしょう。多くの若者が前向きな変化のための気候アドボカシー運動に参加している間、彼らはまだ彼らのグリーン起業家精神の目標を追求するために財源にアクセスするという課題に直面しています。このセッションでは、地方自治体、民間セクター、開発銀行、国際機関に、気候変動の影響に過度に苦しむ開発途上コミュニティにおける若者主導の気候行動プロジェクトに資金を提供する機会について熟考するよう呼びかけます。